

1on1 経験がある社会人 300 人の約 8 割は「1on1 にメリットがあると感じている」 「満足度が高まる、話す量の比率」「話したくなる 10 のポイント」とは?

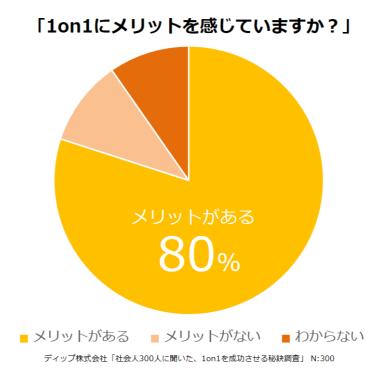
アルバイト・パート求人情報サイト「バイトル」を運営するディップ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO: 冨田英揮、以下当社)は、「社会人 300 人に聞いた、1on1 を成功させる秘訣調査」を実施しましたので、お知らせいたします。また、当社で 2008 年 5 月より導入している「1on1」の模様を記事にまとめました。

■本件概要

- ・1on1 経験がある社会人 300 人の約 8 割は「1on1 にメリットがあると感じている」
- 「満足度が高まる、話す量の比率(自分対相手)」1位は「5:5」22.4%、2位「6:4」21.9%、3位「7:3」12.9%
- ・「1on1 での話をしたくなる相手の特徴」1 位は「話を否定しない」59.2%

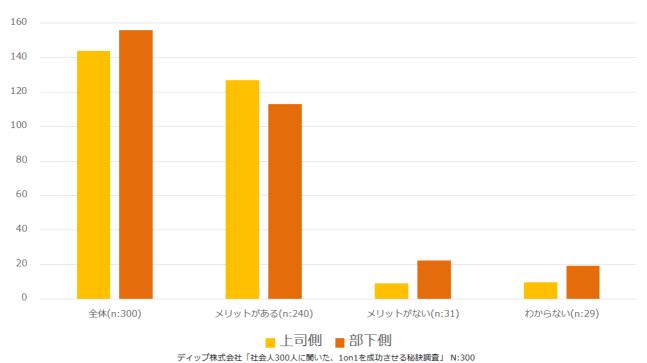
◆1on1経験がある社会人300人の約8割は「1on1にメリットがあると感じている」

1on1経験がある社会人300人に「1on1にメリットを感じているか」を聞いたところ、「メリットがある」と答えた人の割合が80%という結果になりました。



回答者の立場を「上司側」と「部下側」で比較したところ、「メリットを感じている」と回答した「部下側」は約7割、「上司側」は9割を超え、双方がメリットを感じているということがわかります。

「1on1にメリットを感じていますか? (立場別)」

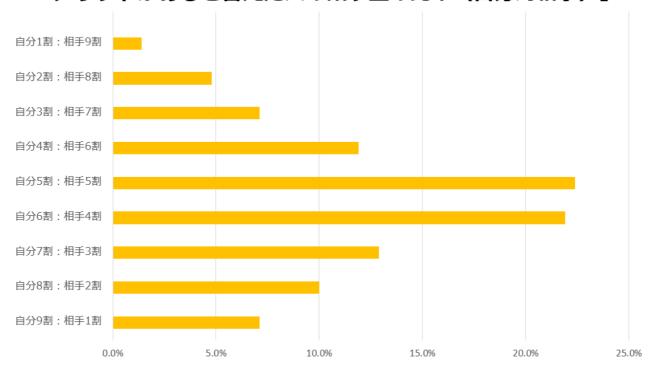


ノイック体以去社「社会人300人に関いた、10111で成功させる物鉄両直」 11.300

◆「満足度が高まる、話す量の比率」1位は「5:5」22.4%、2位「6:4」(21.9%)、3位「7:3」(12.9%)

1on1経験がある社会人300人に「1on1でどちらがどれくらい話をしているか」を「自分:相手」の割合として聞きました。「1on1はメリットがある」と答えた人の回答では1位「5:5」(22.4%)、2位「6:4」(21.9%)、3位「7:3」(12.9%)という結果が得られました。1on1では双方の話量を均等近くに配分するのがメリットを感じやすいことがわかります。

「メリットがあると答えた人の話す量の比率(自分対相手)」

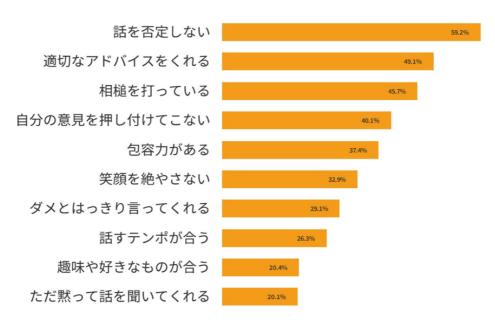


ディップ株式会社「社会人300人に聞いた、1on1を成功させる秘訣調査」 N:300

◆「1on1での話をしたくなる相手の特徴」1位は、「話を否定しない」59.2%

1on1経験がある社会人300人に「悩み事や本音を話したくなる人の特徴」を聞いたところ、1位「話を否定しない」59.2%、2位「適切なアドバイスをくれる」49.1%、3位「相槌を打っている」45.7%という結果が得られました。1on1では相手が話をしたくなるポイントを押さえ、場に臨むことが大事になることがわかります。

「1on1で話をしたくなる相手の特徴」



ディップ株式会社「社会人300人に聞いた、1on1を成功させる秘訣調査」 N:300

■2,000人規模で「ほめる・相談する場」を作るディップの1on1制度「ツキイチ」とは

当社では、2008 年 5 月より「1on1 制度」を導入し、2018 年 12 月より「ツキイチ」の名称で毎月 2,000 人規模で「1on1」を実施しています。新卒入社の社員比率が 80% (※1)を超える当社では、新卒入社社員の管理職昇格年齢は 29.4 歳 (※2)と若く、上司が部下をスムーズに「ほめる・相談する」などのコミュニュケーションをとれるよう「1on1 制度」の導入しております。詳しい様子はリンクの記事をご覧ください。

※1 2019 年 11 月 1 日時点

※2 直近過去2年における実績

- ▶ 当社の 1on1 制度「ツキイチ」の模様: https://jisedai.work/dip-1on1/
 - ・ 当発表を引用・転載される際は 出典(ディップ株式会社「社会人300人に聞いた、1on1を成功させる秘訣調査」)の表記をお願いいたします。

■調査概要

調査設計・分析: ディップ株式会社

調査名:「社会人 300 人に聞いた、1on1 を成功させる秘訣調査」

調査手法:インターネット調査

調査対象:全国の企業に勤める22~65歳の男女

調査実施時期:2019年12月有効回収数:300サンプル

当社概要

当社は、アルバイト・パート求人情報サイト「バイトル」、正社員・契約社員求人情報サイト「バイトルNEXT」、総合求人情報サイト「はたらこねっと」、看護師人材紹介サービス「ナースではたらこ」を通じ、求職者と求人企業双方にとって利便性の高いサービスを提供することで社会を改善する事を目指しています。2004年5月東証マザーズ上場、2013年12月東証一部上場。2019年2月期売上高421億円。

2016年には「dip AI.Lab」を設立。日本初のAI専門メディア「AINOW」や日本初のAIスタートアップ支援制度「AI.Accelerator」の運営などを行っています。日本における少子高齢化に伴う労働力不足の深刻化とAI・RPA市場の拡大を受け、2019年4月、新たにAI・RPA事業部を立ち上げ、2019年9月には"誰でも・手軽に・すぐに"導入できること

をコンセプトとしたFAST RPA「コボット」を開発・提供を開始しました。

社名:ディップ株式会社

代表:代表取締役社長 兼CEO 冨田 英揮

本社:東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー31F

電話:03-5114-1177(代表)

設立:1997年3月

資本金:1,085百万円(2019年11月末現在)

従業員数:1,967名(2019年4月1日現在の正社員)※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容:求人情報サイト「バイトル」「バイトルNEXT」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、FAST

RPA「コボット」の開発・提供、他 URL: https://www.dip-net.co.jp/

<この報道に関するお問い合わせはこちら>

ディップ株式会社 広報担当

TEL: 03-6628-4070/e-mail: <u>info@dip-net.co.jp</u>